

振動・騒音 大型表示器



Oh! 一目でわかる

現在値を大型表示

すぐに対応



規定値を越えたら

回転灯が点灯!



振動計騒音計内蔵
【一体型】

- ・大型LED表示
- ・全天候型風防
- ・回転灯付

アイボルト吊り下げ式



・仕様

外寸 重量	W600×D200×H840mm 約 20kg	内蔵振動計	RION VM-53A
電源	AC100V 3A	内蔵騒音計	RION NL-22
LED文字	100mm 赤		

・回転灯設定

10秒 以上連続で、規定値 85dB を超えたら、1分間 回転灯を点灯!



回転灯	φ110 H161mm	規定値設定	内部サムロータリースイッチ
無反応時間設定	内部ファンクション機能にて設定	点灯時間設定	リングダイヤル式タイマー

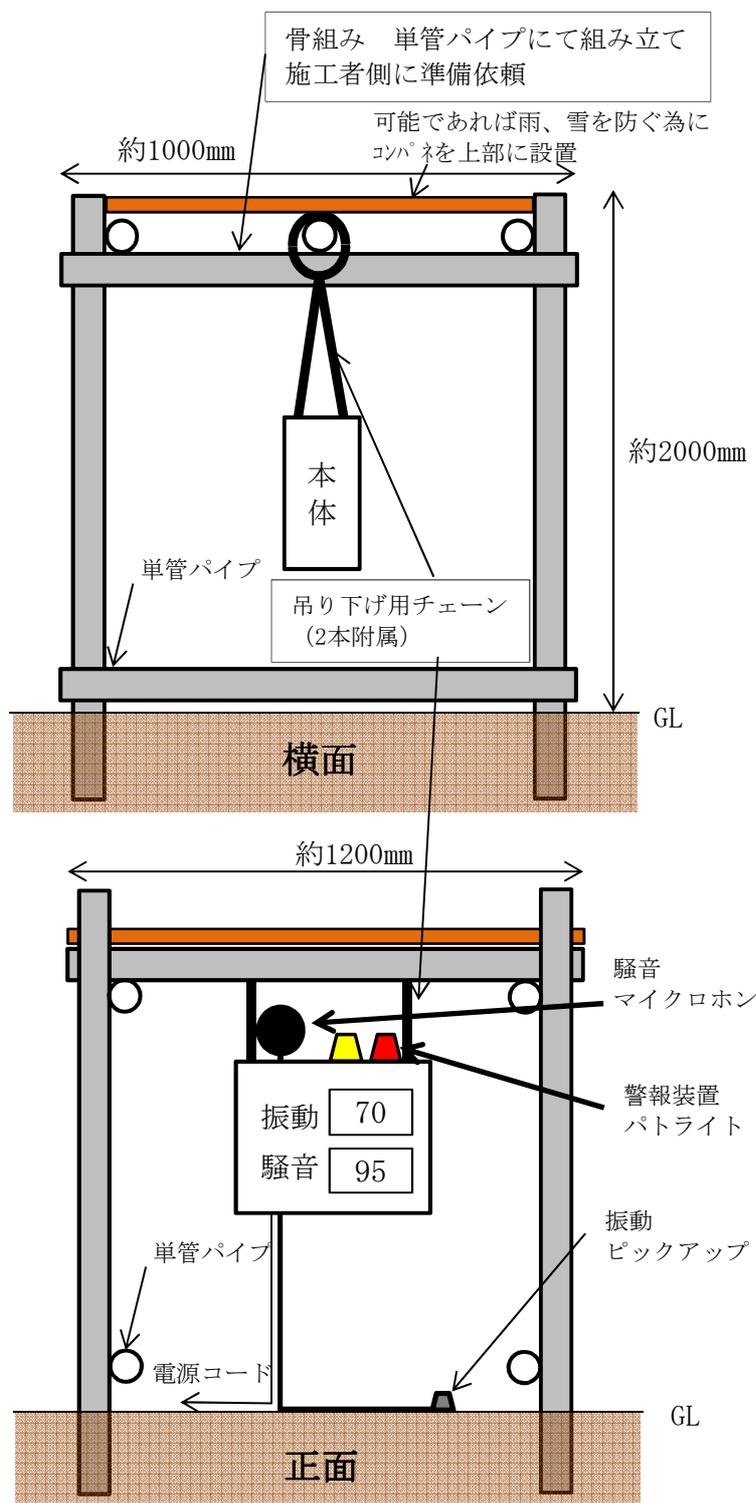
設置方法

設置方法は、原則として、下図の1パターンで実施。

- 吊り下げ式

単管パイプ（万能塀の柱や、足場を利用）を下図のように組み立て、付属のチェーンを用いて、本体を吊り下げます。本体上部にマイクロホン、下部からコードを伸ばし設置する振動ピックアップにて測定を実施します。下部から電源用のコードを伸ばしてAC100Vのコンセントから電源を取って、稼働します。

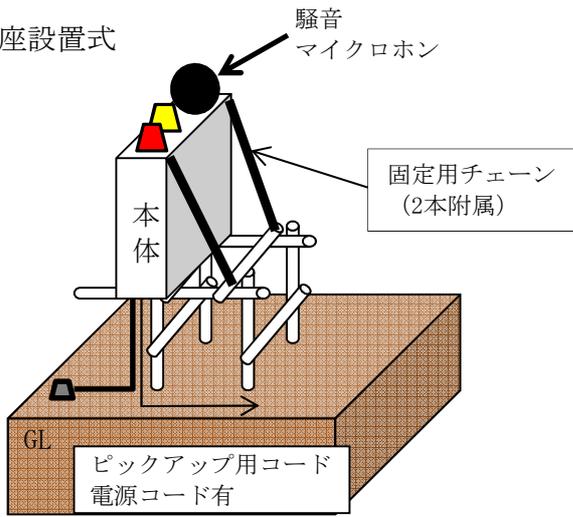
※吊り下げにあたり下図の様な養生が無いと設置が行なえないため、事前の準備をお願いします。



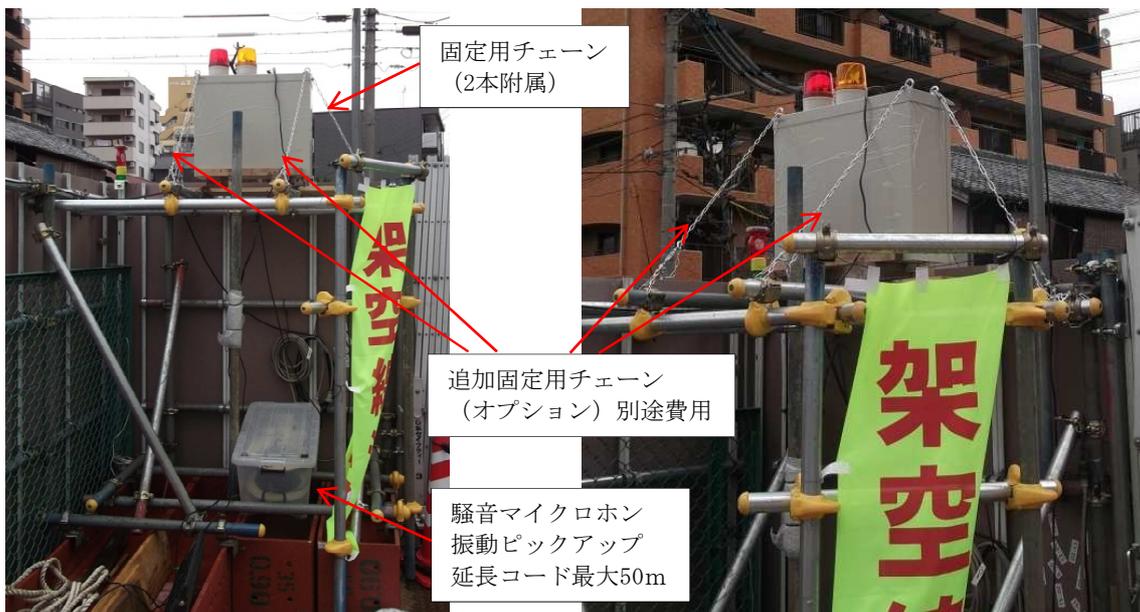
変則パターン

※設置にあたり下図のような養生が無いと設置が行えないため、事前に準備をお願いします。

・台座設置式



・台座設置式 (万能塀上部)



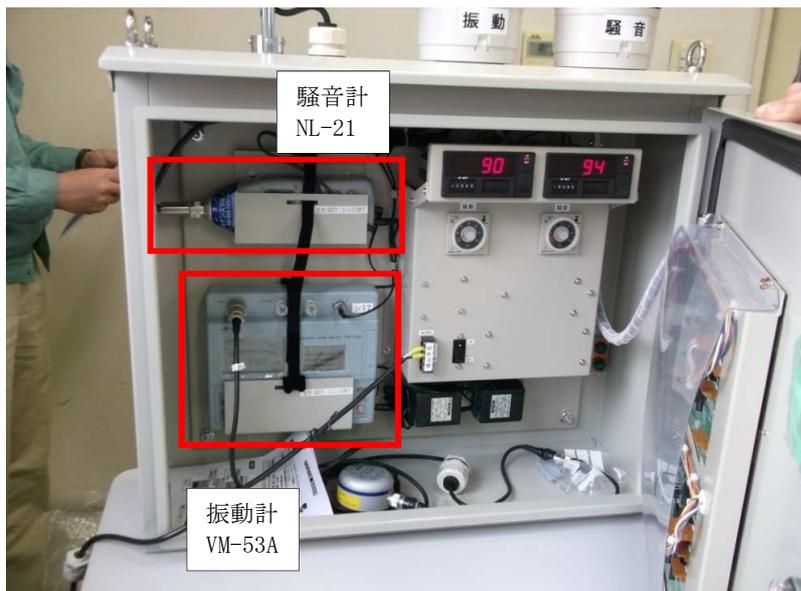
測定方法

大型表示器は振動、騒音の瞬時値を表示するために設置します。

付属の機能としまして、振動、騒音の演算値を各測定器内に記録する機能があります。写真内の振動計、騒音計にて設定を行ないます。

継続測定で記録が必要な場合は、自社で測定の設定及びデータ回収を月に1度行ないます。

※取り扱いにつきましては測定マニュアルがありますので、作業を覚えて頂くことも可能です。



参考資料

測定マニュアル

- ・ 騒音計継続測定マニュアル
騒音計データ抜き出し作業マニュアル
- ・ 振動計継続測定マニュアル
振動レベル計データ抜き出し作業マニュアル